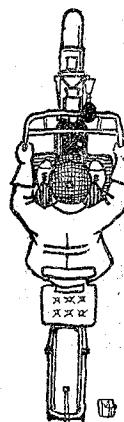


通信

故國に歸りて

神奈川縣技師 平 川 保 一



長崎に上陸して先づ狹隘な凹凸の多い砂利道、黒ずんだ小さなゴチャゴチャした家屋を見て、あの廣々として坦々な鋪装道路や晴やかな綺麗な色の調和を持つた歐米諸都市の外觀と比して、こんなにも相違があるのだらうか、是が徳川三百年鎖國時代に於て、和蘭と通商して歐洲文明を取り入れたる唯一の古い街、そして現今では六大都市に次ぐ大都會だから情なくなる。唯丸山遊廓附近の坂道が板石を以つて鋪かれたのは日本に於ける道路の改良が先づ遊興地よ

り起つたかの感あり、尤も遊興地に於て種々の文化施設が發展するのは蓋し日本ばかりでもないやうだ。郷里佐賀市に昔ながらの馬車軌道をあの狭い道路上に、唯一の交通機關として今尚ほ運轉しつゝあるのを見ては、一層情くななり是を離れては一寸の急用も矢張り人力車に寄らなければならぬのに再び遭遇し歐洲よりの歸途、初めてコロンボ邊で人力車を一ヶ年振りに發見して、非文的だと笑つた納りが、つかなくなつた。所用があつて昔修學の地、熊本に

寄つた此處は幾分文明の利器を取り入れて昔の蒸氣軌道は電車となり、乗合自動車など大分に殖えては居るが路面が昔ながらの砂利道だから泥濘塵芥甚しいそれでも土地の者は熊本も自動車で安く氣持好く乗り廻せて開けましたと云ふのを聞いた一段の進歩に相違ないが、彼の地を思ふと百尺千頭數歩を進めたい、更に上京の途次九州線福岡縣内、車中で隣席の人達の話には日本も自動車使用が賛澤を離れて實用經濟的となり近來九州此附近でも方々乗合自動車が他の軌道と平行して、營業運轉され、そして其の自動車は電車には未だ敗けるが、蒸氣や石油發動の機關車運轉には勝つて次第に是等を壓倒しつゝあるのだと、實際そうであらう然し歐米では既に相當距離までは自動車運輸が汽車、電車に限らずあらゆる交通機關を壓してゐる、日本も現在の悪い砂利道を相當の鋪裝道路に改良し、そして自動車がもつと増されて、安い運轉が出來たならば電車も遂に及ばなくなると云ふことを考へないやうだ。車中から眺めた八幡の製鐵所は煙突林立、黒煙瀟々、燃礮爐の赫熱、諸機械

の轟々たる運轉等其の外觀の偉大さ此處許りは歐米のそれにも比して、劣らないものと心に喜んだが、内容の設備、製品の優良等は米國のピツツブルグ、英國のバーミンガム、獨逸のエッセシ等に比して果して如何であらうか、此製鐵所を中心とし戸畠小倉より關門に至る附近の活氣ある、諸工場は流石に北九州の工業の盛なるを思はしめ、そして此附近橋梁、棧橋、諸建築に鐵筋混凝土の應用廣きを見られる。此新建築材料の利用は歐米に遜色ないことを思ふた、關門海峡の集れる船舶、連絡設備等は自ら快感を覺ゆる所あるも、後者に就てはあのサンフランシスコ、オーケランド間のフェリー（連絡船）が一度に自動車何十臺も滿載して及ばないこと數歩尤も近く關門の海底トンネルも築造さるゝ由、敢えて連絡船の貧弱さを心配する必要ないかも知れぬが、廣島、岡山など中國の大都會は夜過ぎて、曉方神戸から大阪に通る間に近い内に開通とまで漕ぎつけた新築阪神國道、亞米利加人と同様に何事も第一を稱したがる太

阪人（そして實際第一たらしめんと努力し、又或る程度迄實現する所に大阪人の偉い所はある）が稱して東洋一と言ふ此國道を白き鋪装路面と共に植え附けた許りの街路樹、また照明燦然たる武庫川橋や淀川大橋等、汽車の窓から隱見することを得た。

最近附近を合併した爲、之も亦人口や面積に於ては日本一否東洋一、の大阪に下車し早速一圓均一のタクシーに乗つて、大阪府廳に馳けつけた、序だが大阪では此一圓均一のタクシー所謂圓タクが、タクシーとして成功し、莫迦に發達したものだが、どんな所から一圓均一などと云ふ計算が成功したものか？ 外國到る處精確にメートルに依つて料金を徵收するものに比べると、如何にも曖昧なもんだが曖昧な所に満足し、或は一層曖昧を喜ぶ日本人の風習が、然らしめたのだろう然し我等は何時までも曖昧であつてはいかぬ、道路改良でも曖昧を止めて今少し徹底的に攻究して其の利とする所を徹底的に數字の上で、列舉し徹底的に宣傳し徹底的に道路改良の必要を一般をして認めしめた

ものである。新築の大坂府廳の建物が壯麗で、外觀是一寸感心せぬ所もあつたが、内部の構造が如何にも新式に便利に出來てゐるのを見て、再び歐米に歸つた様な氣がした、是も矢張東洋一を誇つて好いかも知れぬ、大阪の都市計畫も他の都市のやうに議論倒れに終ることなく、比較的進捗したそうだが、未だ大して目立たない聞けば都市計畫法は出來てゐても、手續とか財源とか是を實行する手段が完全と、何時もながら日本の姑息な遣り方が、歎かわしく先進國の立派な都市を思ひ浮べて羨しい。大阪はそれでも鋪装は小さな通り迄、大分に行届いたやうだ矢張實行力に富んでゐることを證明する、大阪府の草地技師や荒木技師と共に府廳の自動車を驅つて新築の阪神國道實地に見學した。先づ淀川大橋は長さに於て、堅實なることに於て立派なもの、道幅も京濱國道を抜いて十五間にした所に東洋一と言葉の出た所以だらうが、然るに中央に電車軌道を設けたるは（殊に阪神間他に數條の汽車電車線あるに拘らず）今

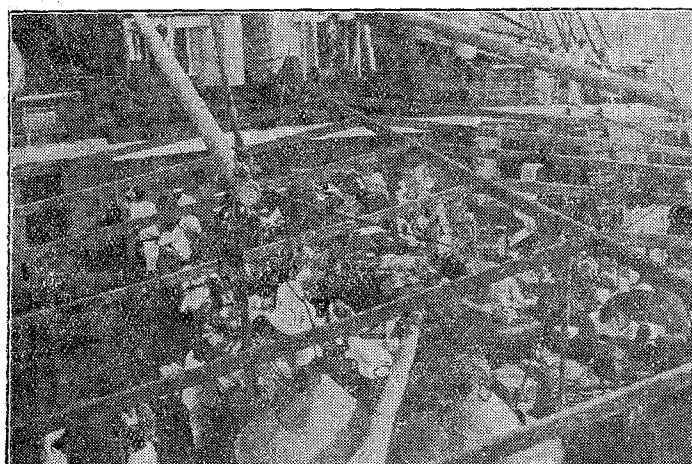
後益々自動車交通が主體となる傾向のある歐米の道路を思ひ、本道に於て十間の車道でも中央に三間の電車軌道を占領されでは、

今後著しく増加すべき阪神間の自動車交通に對して、十分の能率を揚ぐることは、如何であらうか、單に幅の問題のみでなく此兩種類の交通機

關が、同一路面を走ることは殊に郊外道路に於て路面の維持、速力減殺等損する處、大であらう、京濱國道

で歩道を砂利敷の儘、ガツターも知らず放つて置いたのに（神奈川縣側だけ）此處では歩道も綺麗に鋪装してある、歩車界のガツターも作つてある兵庫縣側のワーレナイトビチユリック鋪裝は流石に金がかゝつただけ、綺麗だ、造る時に金に苦心して吝嗇なことを遺憾ら

を下げるだらうが、尤も京都でも或る主要道路にはアスフ



丸山訪談
上船セツバキテア

最初工費の高いのに驚いて必要な事業も實現しないのは一層困るが。（是が日本の現状）兵庫縣では人口丈で引返して、次は京都に寄つた一層昔ながらの砂利道で自動車の數の勢いこと、人口五十萬を擁する大都會としては餘りに貧弱過ると云いたいが、京都は是で好いかも知れぬ日本に遊ぶ外人が京都を稱するは道路など問題でなく寧ろ名物の人力車に依つて日本の舊都に於て、獨特の景色や風俗が最もよく見られるからであらう、然し今の砂利道を立派な鋪裝道にし安價に愉快に自動車をドライブせしむることは、京都見物の價值

アルトや木煉瓦などで若干鋪装したのは見たが、沼津にて

ものであらう。

停車場から最近火事にあつた跡の焼

野原を見た、海外旅行以来久しく聞

かなかつた日本名物の此の火事、沼

津は先年も大火を出して今まで此火

事獨り沼津のみならず殆んど總ての

日本の家屋が、火事に對して燃え易

く出来、幾度火事に遭つても同じこ

とを繰り返し無一物になつても、直

ちに復興し得る意氣と努力とは稱す

べきだが、經濟上の損失を思ふ時は、

今少し考ふる必要があらう。いま丁

度中腹より白雪を載てる富士の秀

峰は矢張り奸い、外國で聞いた日本

名物に櫻、藝者、腹切、富士山、火

事、人力車、惡道路と色々ある中に

も此富士山のみは眞に日本の自然が持つ誇りの最も大なる　家屋建築、復興に至つては尙遠し、多くの人が山手町より

十二月二十日漸く横濱に着いた、

留守中一ヶ年間にあの悲惨な震災を

受けた横濱や帝都が、如何なる程度

に復興したかを見たかつた、先づ横

濱驛頭櫻木町通り十五間幅の道路が

ソリデヂットで綺麗に鋪装されて居

るのを見て嬉しかつた、然しそれは

それだけであつて他の多くの道路は

元の儘の砂利道だ、尤も一ヶ年の間

にそんなんに鋪装の進捗を望むのは無

理だらう、復興事業としては道路の

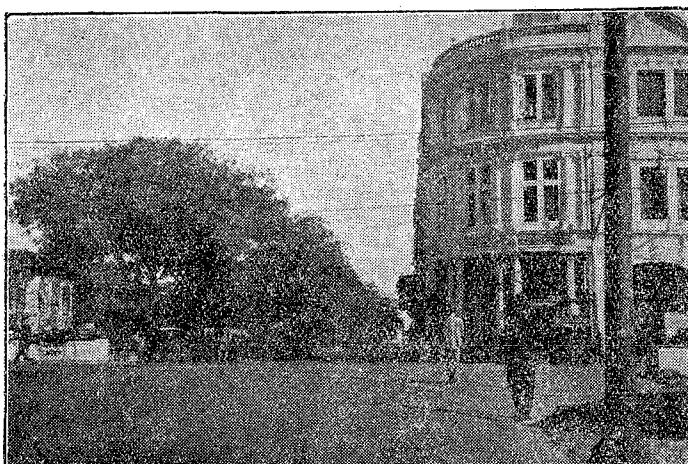
鋪装どころではあるまい、區畫整理、

街路の擴張、橋梁の架設、護岸の修

復等、先づ進むべき順序として相當

の成績は舉つてゐるやうだ、一般の

山下方面が、元の儘の破片散亂たる野原を見ても、横濱の復興も遅い、自分が關係した京濱國道を今一度見直して見ると、遺憾の點が甚だ多い種々の附帶構造物や、路面鋪装も十分ではないが幅の如きも今となつては狭い感じがする、豫算の關係もあつたが今更ながら努力の足りなかつたことを思ふ、せめて歐洲の道路を見た後であつたなら今少し何んとかと……それとしても都部の道路が硬鋪装になつた今日其の東京、横濱市内の接續部分が、何時までも砂利道の儘では折角出來上つた此國道も、交通利用上權衡の取れないこと甚だしい。



な、亞米利加建築を思ひ出しそれでも帝都の偉容の整ひつゝあるには、安んずる所あるも、あの驛前の廣場が砂利敷の儘の貧弱さには悲觀せざるを得ない、是は鐵道の方でやる部分かも知れぬが交通其の他の整理と共に早く帝國の立闈に恥しからぬ裝飾をして貰ひたいものである、鐵道省では鐵道本體の改良は大分やつてゐる實際日本の鐵道は國營だけ流石に外國にも餘り劣らぬ人土によるものであると思ふが、寧ろ進んだ點も大分あると思ふ。肝心の驛前の廣場はお門違ひと云つた風に多く何處も構はないで放つてある。それでは折角の立派な停車場も外觀（外觀許りでなく鐵道との接觸交通等の點でも）を損すること夥しい、實際旅行者が停車場に立つて前を眺めたフアースト、

周圍の大建築の立ち並んでゐるのを望んでは今更に殺風景

オムブレッショーンは其處の町に對する感じを左右するものである。停車場迄來る總ての道路を好くする必要があらう、驛頭に集つてゐる自動車の多いのは流石に帝都だが乗合自動車の圓太郎の貧弱さ、其の少さいこと外觀の汚いこと、先に彼の地で時々通信した通り美麗な色彩の二階造りや、三輪の大形乗合自動車に比べてはお話にならぬ、是でやれ乗合自動車は大き過る道路を壞して困るなどと批難することは壞される道路の方が、何故もつと自分の方を丈夫にして呉れぬかと笑ひそうだ、鈴成り構員の電車には今更洋行風を吹かすまでもないが此世の地獄、東京で今尙地下鐵道築造に行き惱んでゐるとは（起債不許可のためか）情ない話だ、東京市の道路鋪装も近頃大分進んだと會ふ人々からは聞かされるが夫れほど進んでおるとも見えぬ、多分ひどい震災に會はなかつた山手方面だらうが、早く彼地のやうに鋪装しない道路は一寸見られないと云ふ風になりたいものだ、夫れには金もかゝるだらうから場所に依つては簡易鋪装でも好いではないか。

東京、横濱の橋梁は大部分架設されたやうだ、然し復興局で架した橋が皆餘りに單一形式で變化がなく、高欄の裝飾など未來派とでも云ひそなタイプではあるが、素人には一寸何處が好いか分らぬ、巴里あたりの壯麗な橋に比べると如何にも見劣りがする（但し橋梁美に就ては獨り今度の復興局の橋に限らず總てそうであり又見る人の觀念に依つても違ふが）尤も今度の是等の橋は地震等に耐ゆるを第一とし、それに急ぎはするし、少い復興豫算で無暗な橋梁美を望むも無理だらう。其他雨天に際し泥除けを附けて走る自動車の滑稽さ（歐米では泥除はない）家屋内に上る時泥拭は愚か泥洗までせなければならぬ悲哀、街路に林立せる電柱に蜘蛛の巣と張り散らした電線や電車、自動車、自轉車、人力、牛車、馬車、人と雜然たる交通狀態、汗ダク／＼の交通整理等歐米のそれと懸隔の甚だしさ。歐米を旅行し日本に歸つて誰しも汚く感ずるものは道路の汚いこと便所の汚いこと、と云ふのを聞いた、我が道路が汚いと云ふことは偽らざる事實であらう、誠に彼地で會ふ多くの人

は自分が道路専門家なるを知ると知らないとに係らず日本の道路は全く悪い歐米と同程度には或は永久ならぬかも知れぬが、せめて今少し日本の道路も好くして貰ひたいものだと云ふ、永久先方のやうにならぬとは情ない話だが、實際それほど向ふの道路と日本の道路とは距離がある東京や大阪市内及其の近郊（京濱間や阪神間）が最近多少好くなつて來たが、郡部道路に至つては比較のしやうがない、斯様に道路に相違の來した所、種々の原因があらう、富、生活方法（向ふでは家屋構造、履物の關係等から道路は室内の延長と心得てる）交通機關などの相違は遠く其の因をなし、殊に近代自動車の發達は道路に一大革命を來し、今や日本も產業上、運輸經濟上同じ運命に遭遇し道路の改良は焦眉の急に迫つてゐると云はねばならぬ。再び繰返すことながら道路の良否は、以て其國の文明程度を知るに足ることは實際過言でないと思ふ。

斯様に其の絶對的必要は認めながらも貧乏な日本ではなかなかその實現は困難なやうである、曩に内務當局に提

出されんとした産業開發の爲めの全國自動車道路改良費補助は不急事業として退けられ、其の前途は暗黒たるものがある、道路改良の技術上の責任は我等技術者にありとの其の財源捻出には偏に爲政者の覺醒研究を望んで止まぬ、沿道受益者分擔法や自動車又はガソリンに對する特別課稅法或は近く議會に提出されんとする自動車道法などは其の解決策の一・二に相違ないだらうが、更に一般的國庫補助の道を進めて貰ひ度いものである、既に議論の時代は過ぎては居るが此處に敢て道路改良の必要を絶叫し一般の白熱的輿論を喚起したい。